

「考える会」この1年の活動

考える会は設立趣旨にもうたっているとおり、将来の駅周辺整備のあり方について意見交換を行う場です。

会では、ここで紹介しているように、現在の駅周辺の地形や様々な建物の模型などを使いながら、そして様々な意見交換を行いながら、この1年間、将来のまちづくりを考え、活動してまいりました。

このほかに、建物だけでなく、鈴蘭台幹線や鈴蘭台環状線をどのような通りにしていくのかなども考えていかなければなりません。

これを1つの参考例に、皆様の意見をどんどんお聞かせいただき、よりよい鈴蘭台駅周辺の将来像を考えていきたいと思えます。

現況の地形模型

鈴蘭台駅



駅周辺の一体的なまちづくり

- 駅前の商業地、周辺の住宅地がバラバラにまちづくりを考えるのではなく、それぞれが連携・調和することで駅周辺全体が快適で魅力的なまちになることをめざしています。
- それには、建物を整備することだけでなく、道路や公園などについても幅広く考えていくことが大切です。
- 「考える会」では、現在の地形や建物の様子を、駅前だけでなく周辺も含めた広い範囲でつくり、駅周辺全体の将来像について、地形の特徴なども考慮しながら検討しています。